

第5回茅野市総合計画審議会会議結果報告書

会議の名称	第5回茅野市総合計画審議会		
開催日時	平成29年8月31日(木) 18時30分～20時30分		
開催場所	市役所8階大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	2人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	<p>○議事</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 目指すべき将来像について(資料1・2・3)</p> <p>(2) 今後の審議スケジュール等について(資料4・5・6)</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p>○議事録</p>		
事務局	1 開会		
会長	2 会長挨拶 私は都市基盤の分野から参加しているが、最近では所有権不明の土地が問題となっている。法務省による調査の結果、相続未登記等で所有者不明である可能性の土地が410万ヘクタールにも上るといふ。空き家については確実に増加傾向にあると実感している。現在都市計画審議会において都市計画マスタープランを策定中であり、市街地ゾーンの見直しを行っている。前回の当審議会では、茅野市の将来像について意見交換をしたが、本日はそれらを基に、事務局より素案が提示されているのでご審議をいただきたい。		
事務局	4 協議事項 (1) 目指すべき将来像について ・・・資料1・2・3に基づき説明・・・		
会長	5つの将来像候補リストが提示された。資料1～3について意見を願いたい。		
委員	候補①については『人・技・歴史』というのはどこのまちでも多いし、古いように感じる。 候補②については、八ヶ岳というとな誰もが『雄大な自然』とイメージできるため省いてもいいかと思う。最後の高原都市は意味する言葉がダブっていると思う。 候補③については、『安心・安全・豊か』というキーワードはどの市町村でもよく使われている。 面白いと思ったのは、候補⑤だが、住民が自分たちのまちを誇りに思うの		

委員	<p>は当然の事で、あえて掲げる必要はないのではないかと。 八ヶ岳は入っていないが『変わる事 変わらない事 今を生きる私たちのまち』というのはいかがでしょうか。</p> <p>八ヶ岳周辺の市町村は、八ヶ岳をイメージし意識した活動が多い。茅野市も八ヶ岳をもっと前面に出していくべきである。</p> <p>やはりどこかに縄文に関するキーワードを入れてほしい。今後茅野市が継続して縄文を挙げていくのであれば、言葉として入れるべきである。</p> <p>『八ヶ岳ブルー』は、南麓から始まった言葉で頻りに耳にするようになった。今後茅野市が『八ヶ岳』『八ヶ岳ブルー』を自分たちのものとして爽やかなイメージを謳っていききたいならば、候補③もありではないかと思うが、『八ヶ岳ブルー』という言葉がどの程度認知度されているのか心配もある。</p> <p>八ヶ岳、縄文、茅野市が大切にしている生涯学習を盛り込むことで今後の計画にも活かされていくのではないかと。</p>
委員	<p>候補⑤については、第三者的に感じた。変えなければいけないことは我々が変えていかなければならないし、変わらないのではなく、守らなくてはならないという明確な意思を表現した方がよい。自然にしても環境にしても、我々が守っていく必要があり、それを主体的な立場で表現することが適切だと思う。</p> <p>茅野市はパートナーシップを旗印に行政・市民が共に政策を進めてきた。今後も様々な立場の人が一緒にまちをつくっていくには支えあいが必要不可欠となるため、『支えあう』というキーワードは必要だと思う。</p>
委員	<p>資料2のキーワードをまとめた6項目は、大きな意味で捉えると茅野市の魅力であり特徴であり財産である。この自然や自分たちが作りあげた財産、資源をどう活かしてまちづくりをしていくかを考え、将来像候補リストを見ると、候補①にはキーワードが限りなく集約されている。将来像に込めた思いや意味にしても非常に多面的で幅広い視点で思いが込められていると思う。ただし、少々くどいという印象もある。</p> <p>〇〇の部分については『やさしさと活力にあふれる』が良いと思う。やさしさというのは支えあいだけでなく様々な解釈ができる。活力は市民力、行政力、地域力、企業力といった、最低限必要な活力という意味合い。候補②も良いと思う。</p> <p>候補③は『八ヶ岳ブルー』という言葉は初めて聞いた。茅野市民の認知度はどうなのか。また安心・安全はどの市町村でも通用する。</p> <p>候補④⑤については、茅野市らしさが感じられない。</p> <p>10年後の茅野市のあるべき姿を想像しての将来像であるため、『～を目指して』という言葉はとても前向きに感じる。そのままの言葉ではなくても『～のまちへ』という方向性を示す表現もよいと思う。</p>
委員	<p>将来像を実現するためには何をすればよいのか、と連想できるフレーズが良いと思う。何に力を入れていくのか、何をすべきか、また、対象の状態よりも、創る組織や手段が見えてくるものがよいのではないかと。</p>
委員	<p>八ヶ岳という言葉は入れた方が良い。また、どの市町村でも同様ではあ</p>

	<p>るが、移住したくなるようなまちづくりが非常に大切。長野県というと、ゆったり・環境が良い・住みやすいといったイメージを持たれるが、そこに住んで頑張りたくなるようなイメージが良いと思う。候補①～⑤、それぞれ結びつくとは思うが、あまり具体的にし過ぎないで、対外的にイメージとして捉えられる方が良いのではないかと。</p>
委員	<p>茅野市は他の地域よりも活力があり、収入が多く生活水準も高い。ただし10年後の社会は人口減少、少子化、超高齢化が確実である。それをふまえて、地域としてどんな努力をしていくのかを考え、将来像を考える必要がある。そうした意味においては『活力にあふれる』というような言葉は入れた方が良く、『やさしさと活力にあふれるまち』がよいと思う。</p> <p>また、八ヶ岳周辺の他市町村との差別化を図り、『八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす〇〇(の)まち 茅野』と主張するのはどうか。</p> <p>④と⑤は茅野市という地域がイメージできない。やはり八ヶ岳という言葉は入れた方が良く。</p>
委員	<p>10年20年先、社会状況が確実に変化する中で、茅野市が目指している社会を表現することが必要である。人と人、人と自然、人と社会に欠かせない『つながり』という言葉が大切だと思う。</p>
副会長	<p>委員の思いのこもった意見がすべて反映されれば良いが、なかなか難しい。個人的には『八ヶ岳』は入れた方が良くと思う。</p> <p>①の『織りなす』という言葉は非常に個性的で良い。皆さんの思いのこもった言葉すべてがなければ織りなせない。表現としても綺麗で、自然も人も技も歴史もなければ何も作り出せないという意を“織りなす”という言葉での表現は新しく良いと思う。また、将来像をあまりカッチリしてしまうと、分野別計画の内容が制限されてしまうので、将来像の候補をあげるとすれば、①がよい。</p> <p>〇〇の候補に『文化』が無いので是非入れていただきたい。</p>
会長	<p>考え方はそれぞれだが、総花的な感じがいいのか、イメージを一つに絞るほうが良いのか。今までの流れからすると、多少総花的にならざるを得ないと思う。副会長の発言にもあったように、これからの都市は稼ぐ事も必要だが、文化レベルの向上も人の気を引くのではないかと。</p>
委員	<p>八ヶ岳という言葉は入れた方が良くと思う。八ヶ岳は茅野市民の象徴的な存在であると感じている。</p>
委員	<p>具体的な言葉で表現されているととても分かりやすいが、見る人によって捉え方が変わるので、何が大切なのか想像力を掻き立てられるようなフレーズである⑤が良いと思う。ただ、『誇り』は個人的には強い印象があるので、見た人が自分を投影できるような言葉が良いと思う。</p>
委員	<p>イメージ的には⑤が良いと思うが、委員の皆さんには①が好評。何が引かれるのかと考えてみたら、『自然、人、技、歴史』と4つの言葉のリズム感が良くない。『技』とは技術・産業。『自然』は観光。『歴史』には縄文、諏訪大社が当てはまる。『人』を省き、〇〇の部分も一つに絞ると</p>

委員	<p>歯切れも良くなると思う。織りなすという言葉が大事に使えていて良い。</p> <p>前回の市民プラン策定時は、今の経済状況とは全く異なっていたので、まずは“人が元気で豊かであること”が大前提にあり、次に“自然が元気で豊かであること”、それは守るという意味ではなく、逆に自然を人間が良くしていこうという前向きな発想であった。</p> <p>茅野市の特徴といえば、やはり八ヶ岳といえる。茅野市からは 8 つの山が非常によく見える事も理由のひとつである。</p> <p>またコミュニティが非常に優れており、パートナーシップが他の市町村に先駆け充実している事は、今後の社会状況を考えると予算が限られる中、パートナーシップの重要性は大きい。その面を直接織り込まずとも、公民協働で進める事を大切にしている思いを含んだ将来像であってほしいと願う。</p> <p>なお、縄文という言葉が将来像に入れてしまうと、分野別計画に影響がないとも言えないため歴史という言葉が適切だと思う。</p>
委員	<p>候補①に、『人』が入ることが後々の関わりに繋がっていくのではないかと。また〇〇の言葉は非常に重要であると思う。</p>
会長	<p>支えあい・パートナーシップというイメージか。</p> <p>〇〇に入る言葉について事務局では“品”にこだわった。茅野市の品とは何かと。品は文化度なのかもしれない。</p>
委員	<p>先ほど『支えあう』という意見を出したが、他の委員から『やさしさ』という言葉聞いて、やさしさが無ければ支えあう事はできないと感じた。</p> <p>『やさしさと活力のあるまち』はどうか。</p> <p>候補①の、『歴史』は広い意味で文化とまとめられれば縄文の歴史、未来へ向かっての教育等も含め、文化という言葉を使えば包括的になるのではないかと。</p>
会長	<p>委員さんからの意見によると候補①が最有力だが、候補⑤がいいという委員もいる。将来像候補リストの絞り込みに関して事務局側の考えは。</p>
事務局	<p>本日絞り込みをしていただけるとありがたい。案がまとまり次第、分野別の計画策定においても共有し活かしていきたい。</p>
会長	<p>次回の審議会は 10 月を予定している。各分野への説明も絡んでくるため、今回ある程度まとめたいと考えている。</p> <p>候補①の〇〇の部分として、『やさしさ』『活力』という意見があったが他に意見は。</p>
委員	<p>『品位』や『品格』という言葉は親しみやすい言葉ではない。『満ちる』『夢のある』というのは漠然としていて具体性に欠けるように思う。環境や社会状況は変化しているので 4 次総で使われている『躍動的』や『元気で豊か』という言葉は使わない方が良いと思う。個人的には『やさしさ』と『活力』が良いと思う。</p>

会長	最後に『茅野』は入れた方が良いか。
委員	八ヶ岳を主張できる反面、文面が長くなる。語呂も大事である。
副会長	茅野市のどの世代にも候補①はいろんな想像ができると思う。ただ、納得できる部分もあり迷うが、歴史を文化に変えるのはどうかと思う。 茅野市に住んでいる方にプライドを持っていただきたいという思いで品格という言葉も良いと思っていたが、難しい。 候補⑤に心残りのある委員さんもいらっしゃると思うが、あらゆる世代があらゆるイメージを抱けるのはやはり候補①だと思う。〇〇は、『やさしさと活力あふれる』を入れても、それほど違和感はない気がする。また文章にしてみると雰囲気や印象が変わると思う。 自然、人、技、歴史、どれが欠けても茅野市は出来上がらない。
会長	昭和 57 年に策定した市民憲章には、今までの我々の議論と相通ずるところが網羅されている。またどれも欠くことができない茅野市民の憲法みたいなものである。 今後 10 年で茅野市がどんなまちになっていくか。基本は変わらないと思うがどこに力点を置くかが、将来像となるのではないか。 個人的には『文化の香り高いまち』は好きなので『文化』を入れたいと考えていた。
委員	短いフレーズの中から市民の誰もがイメージできる将来像がよい。この 10 年、助け合い支えあうという意味で、『支えあいのまち』という言葉はシンプルにまとまるかと思う。
会長	今後茅野市の人口が減少していく中で、コミュニティが頼りとなってくる。コミュニティは支えあいの象徴でありスポットが当たってくると思う。人間が生きていくまちでなくてはならないので、『支えあい』を入れるとなれば、『人』も入れても良いと思う。
柿澤企画部長	パートナーシップ、支えあい、やさしさといったキーワードが出ているのでその言葉をストレートに使うのか。例えば『織りなす』の前に『共に』と入れると、支えあいやパートナーシップという意味になってくるかと思う。まず状態を示し、目指すべきものとして『〇〇のまち』といった組み立てもあると思う。
副会長	『自然、人、技、歴史』大きく捉えてはあるが、どれが欠けても織りなせない文化。文化水準の高さは若い人へのイメージとして良いと思った。『共に織りなす』とすると、やはり重複してしまう。『織りなす』という言葉はとてもきれいな響きがあるので、そのままの方がよいと思う。
会長	事務局が理科大生にヒアリングした際、今後この地域を支える若者のイメージにはどういった意見があり、どんな意見の優先順位が高かったのか。

事務局	<p>前回の会議の際に、理科大生へのヒアリングの結果をまとめさせていただいたが、「遊ぶところが欲しい」、「交通の利便性が良くなればいいのに」といった現実的な意見が多かった。「茅野市は将来こうなればいいな」という意見はあまり出てこなかった。現時点における暮らしやすさ、住みやすさを求めている印象を受けた。</p>
会長	<p>若い人は現実的なものかもしれない。 10年前とは違い、これからの10年というのは一人だけ良ければいいという考えではなく、みんなが支えあって生きていくというのが茅野市の10年、20年後の姿だと思う。その辺りが将来像で表現できるとよい。</p>
事務局	<p>本日のご意見を踏まえて、候補①が最有力との判断をさせていただきたい。また、皆さんから、〇〇の部分へは『やさしさと活力にあふれる』を、という意見をいただいた。『やさしさ』の中には、支えあいやパートナーシップも含まれてくる。『活力』には、産業の振興や人口減少に立ち向かうまちという意味合いになると思う。 『目指す』という意見もあった。事務局としては、10年後、20年後の将来像として、そうしたまちを目指すのではなく、そうしたまちになっているという捉え方である。 ①『人』を入れるかどうかは、語呂合わせも大事という意見があった。『八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす やさしさと活力あるまち』といった案で進めていきたい。</p>
会長	<p>他へ出すようなときは(案)としていただいて、今現在での審議会の方向性を示せれば良いのではないか。</p>
事務局	<p>今後の審議会で議論をしていく中、言葉の変更や修正は行っていく。あくまでも現段階での(案)とする。</p>
会長	<p>協議事項 (1) 目指すべき将来像については、以上とさせていただく。</p>
事務局	<p>(2) 今後の審議スケジュール等について ・・・資料4・5・6に基づいて説明・・・</p>
会長	<p>資料で分野別の計画は膨大な計画であることが見えた。この計画が積み重なっていて、我々の総合計画審議会と情報共有するのが全体ミーティングである。 各セッションとのすり合わせはいつになるのか気になっていた。</p>
事務局	<p>分野別の計画では進行状況にばらつきがあるため全体の進行状況を見ながら策定スケジュールを詰めていく。</p>
委員	<p>9月下旬予定の第2回全体ミーティングで、分野別計画の方が初めてこの将来像を目にするのか、それとも分野別計画の中で(案)は示されているのか。</p>

事務局	本日ある程度の方向性を出していただいたので、すぐ分野別の計画担当事務局には情報共有させていただく。全体ミーティングまでに分野別計画を策定する会議があるところについては、将来像として現段階の案を示す予定である。
会長	分野別の方々からの意見もあると思う。その意見は全体ミーティングの時に出されるという事か。
事務局	全体ミーティングについては、分野別の策定組織の関係者、総合計画審議会についても正副会長に出席していただく予定としている。分野別の計画についてはそれぞれの団体へ持ち帰っていただき、情報共有をしていただく形になる。
委員	分野別計画策定の具体的な内容を教えてほしい。
事務局	例えば保健・医療・福祉の柱は分野別計画のビーナスプランにほぼ含まれてくる。政策自体がこのビーナスプランの中で体系化づけていく。子育て・教育・文化については、教育大綱といったものがあるが、これをふまえてどんぐりプランが中心になり、市民プランでいう施策、細施策、具体的な取組である事務事業として何を行っていくのかを、分野別計画の中で具体的に落とし込みがされてくる。
委員	いろいろなビジョンやプランに落とし込んでいるという事か。
事務局	そのとおり。
委員	分野別計画の策定組織と総合計画審議会の間で、共有しなければいけない情報は多いため、全体ミーティングをタイミングよく開催しなければ情報が分断されてしまうという心配がある。
会長	4次総の円卓会議では積み上げて作っていたが、今回の5次総では基本構想と基本計画とすり合わせていく方法であるため、情報共有の接点が気になるのは当然である。
委員	自分の分野の分野別計画の進捗状況は予備知識として知っておきたい。
会長	この審議会の委員は各分野の代表というわけではないが、情報として知っておきたいという事か。
委員	基本構想に関わっていく以上は、自分の主として携わっている政策の情報を把握していきたい。
会長	委員が一番心配なのはこういった部分であるが、事務局の考えは。
事務局	各分野の進捗状況は確かに気になる部分であると思う。全体ミーティングで、その段階での将来像(案)を示すとともに、各分野の進捗状況を

	情報交換させていただきたい。
委員	全体ミーティングの前に、自分の政策分野の情報を知っておきたい。
会長	全体ミーティングまでにまとめられるか。
事務局	各分野の中での情報共有であれば、各分野の事務局から関係する委員さんへ情報共有するよう伝える。
会長	進捗状況の把握は、総合計画と分野別計画の双方を、一体的に策定するためにも必要である。
委員	環境分野の関係者は、自分の携わっている美サイクル茅野以外にもいらっしゃるの、そうした他団体の計画策定に係る情報も全体ミーティングの前に把握し、理解したうえで出席したいと思っている。
小池市民環境部長	環境基本計画からは、環境審議会と打ち合わせをして資料を提供させていただく。
会長	他の委員さんからも具体的な情報共有を求める声があるため、対応させていただきたい。
柿澤企画部長	資料 4 にもあるとおり、基本構想の内容について、分野別計画を策定する関係者とも情報共有するために全体ミーティングを行う。各政策における計画策定の進捗状況等の情報共有については、分野ごとの事務局がそれぞれの個別計画の関係者を集めて行うようにしていきたい。
会長	委員さんとしては、この審議会での発言が全く個人的な意見で良いのかどうかというフラストレーションがあると思う。同じ分野の話をつまみまえた上で発言したいという気持ちも理解していただきたい。
委員	まずは我々が将来像を作り、各分野別に下ろす事が先決なのではないか。分野別ではその将来像に対してどんなアクションを起こすべきなのか、どんな計画を立てるべきなのか、どんな計画が将来像と結びついていくのかという順序になると思う。この審議会では分野別計画を精査するのではなく、将来像を決める事が重要なのではないか。
会長	そのとおりである。ただ、委員さんにとっては、全く個人の意見ではないのではないかという気持ちがあると思うので、各分野の事務局と調整をしていただきたい。
委員	重点的なプロジェクトというのは政策横断プロジェクトの事か。あるいは全く違うのか、決めないのか。どういったまとめ方をするのか。
事務局	基本構想の重点的な方針としては、まちづくりの基本指針にある 5 項目が取組の大きな柱となってくる。具体的に重点化していく事業については、基本構想の中ではなく、分野別計画の中でこういったものを重点的

	<p>に落とし込めばよいか整理をさせていただく予定である。</p> <p>政策横断プロジェクトは、横串といった位置づけの施策としている。例えば防災、情報化関係、縄文の取組であり、重点とは違う意味で捉えている。</p> <p>急を要す重点的な取組は、基本構想を策定する現段階では意識していない。</p>
委員	<p>4次総の時にはボトムアップ的な発想で計画がまとめられていた印象がある。5次総の作り方は整合性のとり方や各分野の成果や問題点が見えにくいように感じるが、なぜこういった方法で進めることになったのか、経緯を知りたい。</p>
柿澤企画部長	<p>4次総である市民プランは従来の作り方とは違っていた。それまでの総合計画は市民の皆さんに集まっただいてゼロから作り、進行管理の仕組みはなく、5年後には前期計画を見直し後期計画を作る、そして次の計画はまたゼロから作るといったやり方であった。</p> <p>市民プランでは、計画を実行し、毎年現状と課題を確認し、方向性や不具合をチェックし、場合によっては事業を見直し、または新たに加える、やり方を変えるという形で計画自体を毎年進化させていくという考え方で進めてきた。市民プランは毎年分野別の市民団体の皆さんにも委員として進行管理委員会に入っただき、一緒に進行管理をしてきた。その一連の取組により、毎年現状と課題が整理され、方向性もある程度整理されてくる。</p> <p>その前提に立って、この5次総の策定を始めた。毎年市民の皆さんと一緒に進行管理することによって積み上げられている成果があり、その上に5次総を作っていくため、この審議会でも基本構想である大きな方向性を審議出来るという考え方で進めている。</p> <p>ただ、分野によっては進行管理の情報が市民団体等と共有できていなかったという課題もいただいている。</p>
委員	<p>計画上は継続性のあるものとして踏まえた形で5次総が始まったという事か。参加している委員の立場としてはそれぞれの分野があるため、現状を把握したいのにも見えにくい。今後、計画を立てていく上では、各分野の成果や問題点を、共有し皆が見える方法を段階的に考えていくべきではないか。</p>
樋口副市長	<p>5次総の策定の基本方針にもあるように、茅野市の場合には、各分野で個別計画をしっかりと作っただき、基本的にはそれをベースとし、総合計画の中で、政策ごとに個別計画をしっかりと体系づけていくという考え方である。</p> <p>市民プランでは、それ自体でPDCAを回しているため、分野別計画と進行管理が重複したり整合が取りづらいという課題があった。</p> <p>5次総の策定にあたっては、そうした課題に対応し、より分かりやすく進行管理するのが行政にとっても市民にとっても良いことだと思う。</p>
委員	<p>分野別というのはどちらかというと縦割りに近い状況。その中で分野別の計画がある。検討する場合には1+1が5や10になるように考えて</p>

	<p>いかないと、せっかく先を見て新しいことをやろうとしているのに、意味がなくなってしまうのではないか。政策横断プロジェクトがしっかり機能するようにチェックを行っていただきたい。</p> <p>第1回全体ミーティングでは100人前後が2時間の会議に出席し、それぞれの立場でそれぞれの意見を述べたが、その会議にどういった成果があり、反映されているのか議事録もなく見えてこない。また第2回ではどう活かしていくのか、聞かせていただきたい。</p>
委員	<p>第1回の全体ミーティングは不完全燃焼といった印象である。せっかく様々な分野の方が一堂に会しているので、様々な意見を聞きたいと思っている。多くの意見を聞けるような運営の工夫を期待している。</p>
事務局	<p>出席者については、策定組織の正副委員長に絞り込む予定である。</p>
委員	<p>我々の現状を把握したいという思いは、分野別計画の策定関係者も同じではないか。ここまできたらこの方式を進めるしかないが、計画間のすり合わせを充分に行い、策定に関わる関係者が納得できるよう、進めてもらいたい。そのためには計画策定の時期も十分考慮していただき、年度内の策定が難しければ、半年なり策定期間を延ばすことも検討していただきたい。</p>
会長	<p>進め方については、必ずしも期限を区切って無理やり押し込めるのではなく、十分に考え、発言の出来る環境を配慮していただきたい。</p> <p>協議事項 (2) 今後の審議スケジュール等については、以上とさせていただきます。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回、第6回茅野市総合計画審議会は、 日時・・・10月23日(月) 18:30～ 場所・・・ゆいわーく 3F</p> <p>第2回全体ミーティングは、 日時・・・10月5日(木) 予定。 出席者・・・正副会長</p> <p>※本日の委員のご意見を踏まえ、出席者は再検討する。</p>
副会長	<p>5 閉会</p> <p>本日はいろいろなご意見ありがとうございました。 以上で閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。</p>